



## 心に語りかける里山の原風景 赤塚一 写真展



謹啓 春陽の候 皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

里山の風景や森の山野草などを楽しむことができる「里山フィールドミュージアム」では、5月28日(日)までの期間で、赤塚一氏の写真展示を開催しています。

- 里山の味わいのある風景を得意とする写真家「<sup>あかつかはじめ</sup>赤塚一」氏の写真展
- 竹之高地(長岡市)で生まれた“<sup>まつぶわし</sup>雪布和紙”を使用した深みのある写真

また、里山フィールドミュージアムでは「つるしびな展」(5月7日(日)まで)も行っており、来園いただいた方の目を楽しませています。

皆様にはご多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載を賜りますようお願い申し上げます。

謹言

【配布先】 長岡市政記者クラブ、新潟県政記者クラブ、他

【お問合せ先】

〒940-2082 新潟県長岡市宮本東方町字三ツ又1950-1

国営越後丘陵公園 越後公園管理センター 企画運営グループ 担当:滝・松田・中野・小林

電話 0258-47-8001 FAX 0258-47-8002

担当携帯 080-3418-2395 公園 HP <http://echigo-park.jp/>

里山フィールドミュージアムでは、里山の自然や伝統の素晴らしさ、大切さを体験してもらうことを目的に様々なイベントや展示企画を行っています。<sup>あかつかはじめ</sup>赤塚一写真展では、通常の写真用紙ではなく“<sup>せつぷわし</sup>雪布和紙”に印刷された写真を楽しむことができます。“<sup>せつぷわし</sup>雪布和紙”に印刷することにより、味わいのある作品となっています。



### こうさいが ・光彩画

写真は、その場その一瞬を立ち会って描くことから「一期一会」を切り撮る」とも言われています。このようなカメラで描いた心象描写を氏は<sup>こうさいが</sup>「光彩画」と称しています。

### せつぷわし ・雪布和紙

<sup>たけのこうち</sup>竹之高地（<sup>はらとりまつ</sup>長岡市）で<sup>すずきぼくし</sup>原刀利松氏が生み出した和紙。鈴木牧之の雪国越後の紀行文「<sup>ほくえつせつぷ</sup>北越雪譜」にあやかって「<sup>せつぷわし</sup>雪布和紙」と命名され、原料の<sup>こうぞ</sup>楮を雪に晒すという工程を入れることによりきれいな白が得られます。

## <sup>あかつかはじめ</sup>赤塚一写真展

日時：開催中～5月28日（日）

開園時間中

会場：<sup>さとやまこうりゅうかん</sup>里山交流館えちごにあん

料金：観覧無料

協力：アトリエ <sup>こうさい いえ</sup>光彩の家

「<sup>せつぷわし</sup>雪布和紙」と<sup>こうさいが</sup>「光彩画」のふたつが、融け合ったとき、和紙の持つ風味は、いっそうの深まりと広がりを持って心の原風景を表現できる喜びに満たしてくれます。



春彩 by H.Akatsuka

## つるしびな展



江戸時代に始まったと言われる「つるしびな」は生まれてきた子供の幸せを願い、お母さんやおばあちゃん達が小さな人形を少しずつ持ち寄り作られていました。越後丘陵公園でも様々なかわいの人形たちが飾られお客様を楽しませています。

日時：開催中～5月7日（日） 開園時間中

会場：<sup>こし</sup>越の里山館

料金：観覧無料

協力：つるしびなの会

